

陸軍病床日誌

🔍 キーワード

傷痍軍人、援護、恩給

作成課

福岡県民生部援護課

年代

大正7年～昭和22年ころ

分類

保健福祉



概要

第一次世界大戦ころから太平洋戦争終戦までにかけて小倉陸軍病院に入院した傷痍軍人のカルテ。戦闘による受傷からマラリアや結核などの感染症、精神疾患に至るまで様々な傷病の治療の過程が克明に記録されている。

戦後、陸軍病院が旧厚生省の管轄となった際、国が一時的に管理し、その後、援護・恩給事務を所管する福岡県が保管していたが、平成26年に当館へ移管された。全334冊。

旧日本軍に関する文書が、敗戦時に大量に焼却された中、こうしてまとまった量の文書が残存していることは珍しく、当時を知る上で非常に貴重な資料と言える。

関係法令

恩給法(大正12年法律第48号)

戦傷病者戦没者遺族等援護法(昭和27年法律第127号)

戦傷病者特別援護法(昭和38年法律第168号)

関連文書

『傷痍軍人名簿 木室村役場』(大川市公文書;1-2-0002918)

『傷痍軍人に関する事蹟』(飯塚市公文書;1-2-0017073、1-2-0017074) など